

電子書籍流通への取り組み ～NetLibraryを中心に～

(株)紀伊國屋書店 営業推進本部 牛口順二

2010年5月17日

デジタルネットワーク社会における出版物の利活用の推進に関する懇談会
利活用に関するワーキングチーム(第2回)

本日のおはなしの内容

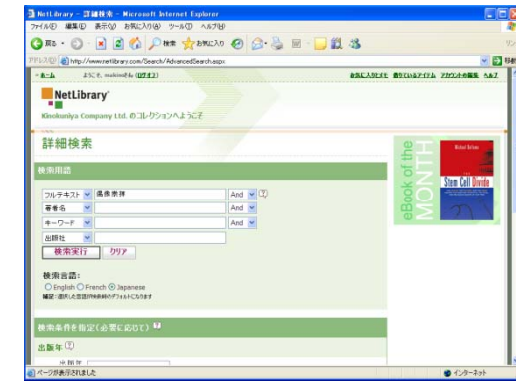
1. NetLibraryへの日本語コンテンツの搭載
国内出版社へのビジネスモデルの提案
2. 導入図書館での利用例
電子書籍の特性を生かした利用
利用環境の整備

NetLibraryとは

- NetLibraryは、主に図書館向けの電子書籍の閲覧サービス。
1998年に創立、2002年1月よりOCLCの一部門となり、それに伴い
紀伊國屋書店が国内販売総代理店となる。
- 世界50カ国の17,500館に提供中
日本国内では、172機関が利用中
- 主に学術研究図書館向けのeBookコレクションを提供
21万タイトルの約90%が学術研究機関向け
文系、理系を問わず多岐に渡る分野をカバー
- 欧米の主要出版社のほとんどが参加(約500社)
Springer, Elsevier, Oxford U. P., Cambridge U. P., CABI, Wiley,
Taylor & Francis (Routledge, CRC Press etc.)など

NetLibraryのサービス概要

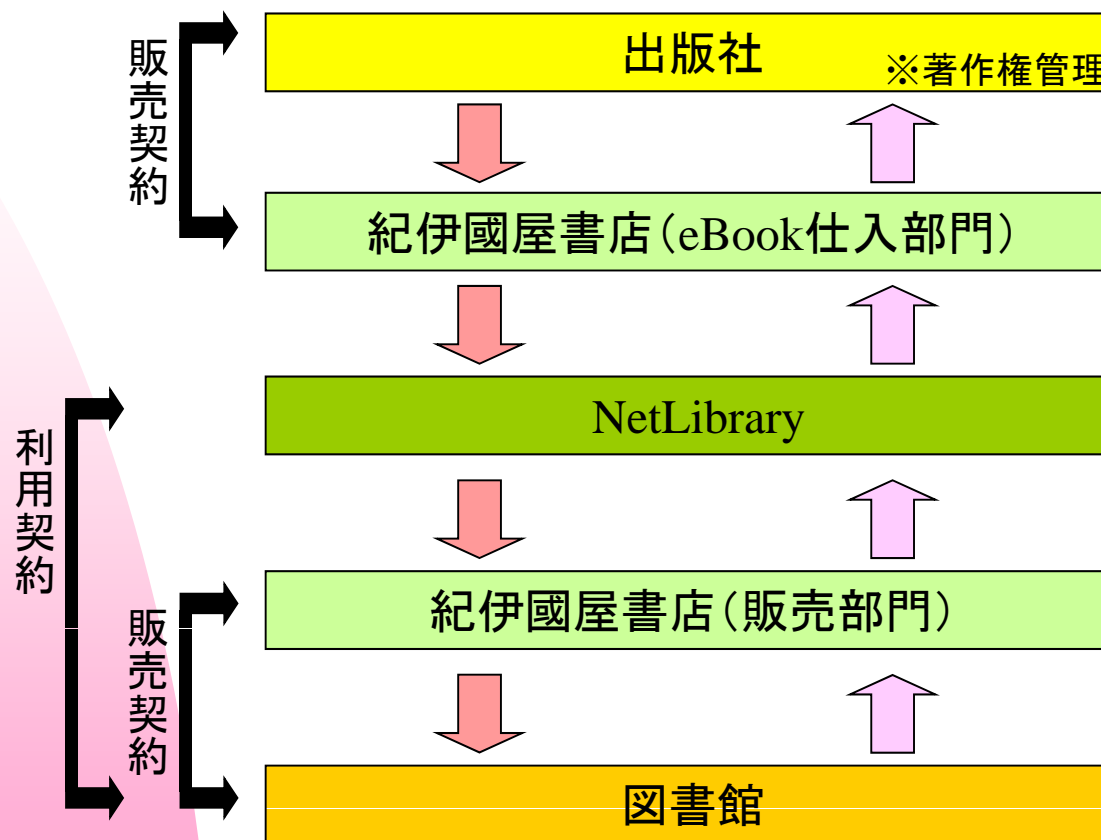
- インターネット経由、PC上で閲覧が基本
(ダウンロード貸出モデルもある)
- eBook間の全文横断検索、書籍内の全文検索機能
- 個人専用のメモ機能
- 辞書機能内蔵
- 印刷体書籍に準じた範囲でコピーまたは印刷が可能
- タイトル単位での買い切りモデル
- 1部につき、1人しか同時利用できない。



和書コンテンツの搭載

- サービス開始当初から、日本語コンテンツ搭載への強い要望
背景に、学術情報流通の電子化・ネットワーク化の進展
- 2006年8月に、システムバージョンアップし、多言語対応となったのを受けて、日本語コンテンツの提供準備開始
- NetLibraryシステムの日本語検索システムの改善支援
- 国内出版社への日本語コンテンツ搭載のビジネスモデルの提案
 - ①市場のニーズに対応したタイトル選定提案
 - ②価格モデル
 - ③デジタル化作業受託モデルの提案（凸版印刷との協業）

NL和書プロジェクト概念図



↓ eBook提供の流れ ↑ 支払いの流れ

NL和書コンテンツ販売の現状

- 2007年11月から提供開始
2010年4月時点で38社から1,593タイトル
- 販売実績
販売開始から約2年強で180機関で導入

国公立大学	53
私立大学	96
国公立研究機関	12
企業など	10
公共図書館	1
海外大学	8 (米国、カナダ、豪州、台湾)

タイトル充実に伴い売上伸長



主な収録タイトル

公共哲学（全20巻）	東京大学出版会
ベルグソン全集（全9巻）	白水社
日本随筆大成（全105巻）	吉川弘文館
卜部亮吾侍従日記（全5巻）	朝日新聞出版
現代史資料（45巻+索引）	みすず書房
シリーズ日本語のしくみを探る（全7巻）	研究社
金田一春彦著作集（全12巻+別巻）	玉川大学出版部
宮本常一著作集（全50巻）	未来社
日本近代立法資料叢書（全16巻）	商事法務
日本の国際政治学（1-4）	有斐閣
基礎数学シリーズ（1-23）	朝倉書店
数理物理学方法序説シリーズ（全9タイトル）	日本評論社
理工学講座（全35巻）	東京電機大学出版局
日本の産業システム（全9巻）	NTT出版
神経科学 形態学的基礎	医学書院
最新 手術看護マニュアル	メジカルフレンド

NLのデータ仕様

■ コンテンツデータ

① 書籍データ

- ・PDFファイル

表示用、版面表示

- ・テキストファイル

検索用

ーNL搭載全書籍のフルテキスト検索用(全頁1ファイル)

ー単一書籍のフルテキスト検索用(頁単位のファイル)

② 目次データ

- ・XMLファイル

目次リンク用

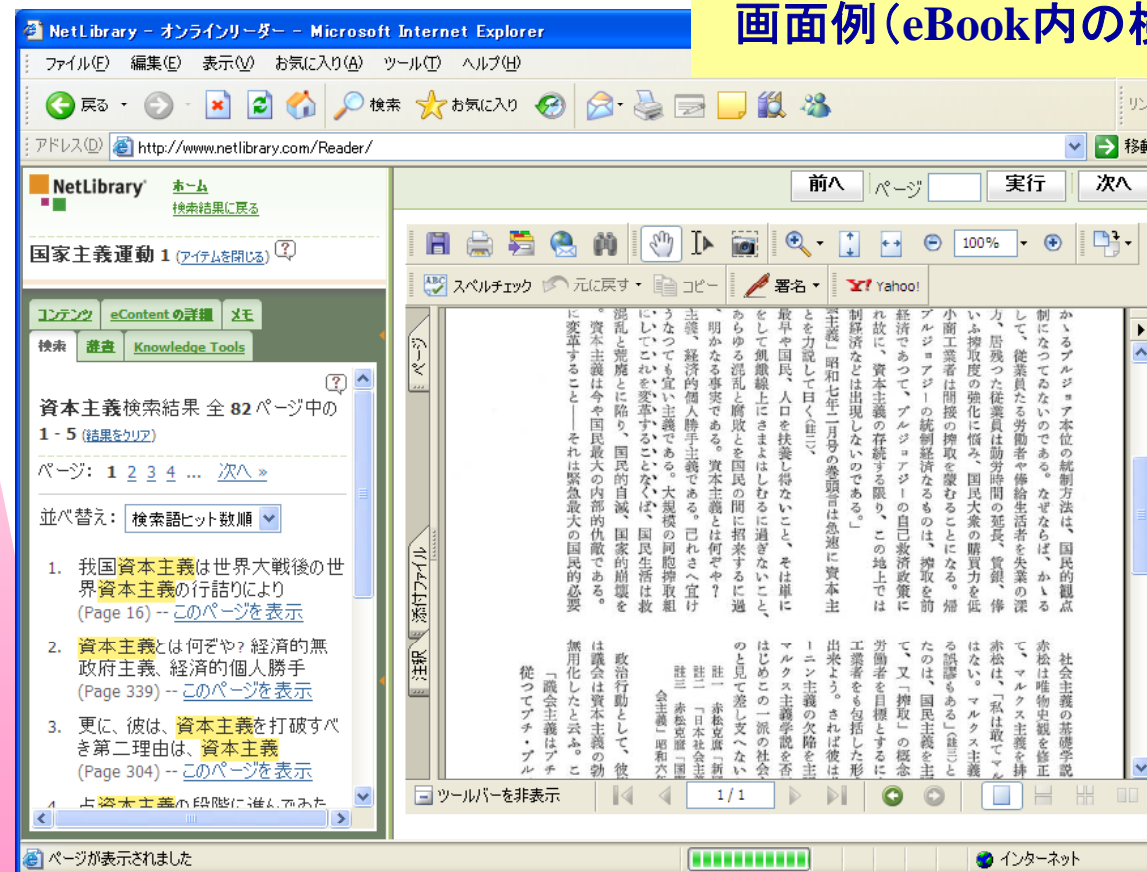
■ MARCデータ

③ 書誌情報

NetLibrary eBook の活用

■ 全文検索機能の活用

画面例 (eBook内の検索)



eBook の活用と利用環境整備

図書館サイト上での各種支援ツールとの連携
eBookは、積極的に存在を示す仕掛けも必要

■ OPAC (図書館蔵書目録) との連携

- ◆ 購入したeBookの目録データを提供
- ◆ OPACへロードすることにより、プリント版と併せて蔵書として利用者へ提供可能
- ◆ MARC21またはNACSIS準拠フォーマットにて提供

■ 学習情報源とのリンク

- ◆ シラバス (授業計画)
- ◆ パスファインダー (テーマ別資料案内)

(一例) 授業資料ナビゲーターと電子書籍のリンク (千葉大学)

The screenshot shows the PathFinder website interface. At the top, there's a navigation bar with tabs for '授業コア科目', '教養副科目', and '文学部'. Below this, there's a search area with a search box and a '検索' button. The main content area displays search results for '数理1・数理3' (Mathematics 1 and 3) by Kubota T. The results include the title, author, and a list of keywords: 'キーワード: 自然数 素数 フィボナッチ数列 約数 完全数'. There are also options to 'このeBookを閲覧する' (View this eBook) and 'このeBookをダウンロードする' (Download this eBook). The interface is clean and organized, with clear navigation and search options.

授業資料ナビゲーター(PathFinder)とは...

授業で学ぶ内容の基本的な知識が得られる情報源やキーワードを、コンパクトにまとめたリストです。

ウェブページや紙で提供されるので、インターネットの検索に取り掛かるのも簡単、図書館で本を探しに行くにも便利です。 講義を行なう先生と図書館が相談して作ったものなので、授業にピッタリです。

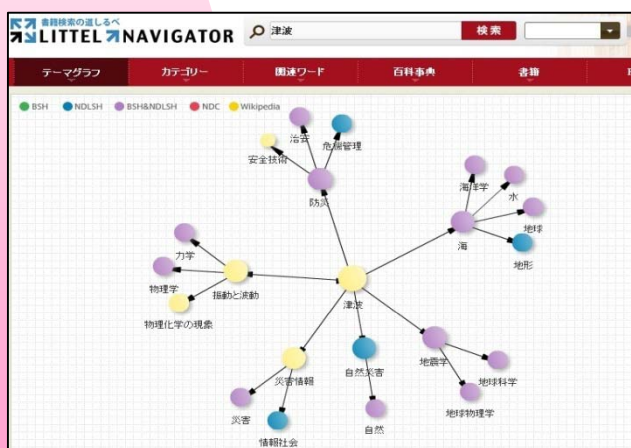
(千葉大学図書館ホームページより)

eBook の利用環境整備

求める資料に行きつくための支援ツール

■ 検索支援ツールとの併用

非統制語から統制語系(NDL件名、NDCなど)への繋がり可視化



リッテルナビゲーター: 東京大学情報基盤センターの研究成果をもとに開発されたサービスです。